

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2018年8月22日
週報 第2532号



インスピレーションになろう

四つのテスト

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を
深めるか
- 4、みんなの為に
なるかどうか

プログラム案内

本日のプログラム
8月22日(水)

- ・点鐘・ロータリーソング
- ・我らの生業
- ・会長報告・幹事報告
- ・卓話

次回予定
8月29日 立食

例会報告

第2648回(2018年8月8日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
62名	41名	21名	66%	57%

欠席会員

名城、崎原、豊村、仲本、大原、上原、江夏、大城(博)、大濱、儀部、福重、久保、立津、内野、三浦、當真、照屋(紀)、近藤、宮城、中村、橋本
会員

Make Up

小林 充 (7/31 東京臨海東) 小林 充 (")
 小林 充 (8/1 東京臨海) 儀部頼人 (")
 石川正一 (8/4 IA 年次大会) 崎原信一 (8/3 浦添)
 比嘉広明 (") 宮内一郎 (8/6 那覇南)
 豊村良春 (") 大原 博 (8/8 宜野湾)
 松島寛行 (") 小林 充 (8/9 コザ)
 糸洲 昇 (") 照屋義美 (8/9 那覇東)
 大城純市 (")

ビジター

伊良皆善子(浦添) 比嘉弘二(浦添)
中家輝勝(")

会 長 具志堅 一真 副会長：比嘉広明 當間良明
幹 事：比嘉芳直

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
事務局 那覇市松山 1-1-14 那覇共同ビル 6階

TEL : 861-7824 FAX : 861-7825



ニコニコ BOX

合計¥7,000 累計¥62,000

伊良皆善子 インターアクト年次大会ご協力有難う
比嘉弘二 ございました。心よりお礼申し上げます。
中家輝勝 (浦添 RC)

城間久美子 お久しぶりです。これからはまじめに参加します。

比嘉芳直 幹事になり1ヶ月と8日になりました。

勉強ばかりで大変ですが、皆さん宜しくお願いします。

会長報告



今日は女性がお二人見えております。伊良皆会長、浦添ロータリーの皆様有難うございます。

また何か月ぶりに城間久美子さんが見えております。理事会でやっぱり出席率が悪いということで、ご無沙汰の方には連絡をしましょうということになりまして、前回の例会終了後に城間さんに電話したところ、「必ず行きます!」ということで早速すぐに出席して頂きました。ありがとうございます。

8月6日(月)に、分区連絡会第一回ございました。活発な意見が沢山出て、色々ありましたけどもより充実させるように皆さんが努力していくことまでまとまりました。そして当分区のガバナ補佐が今回から二人体制になりました。私たちは那覇北クラブの仲田さんがガバナー補佐として訪問してまいりますので、ガバナーと我々クラブとの橋渡しとして、きちっとお互いにやっぴいこうと確認しておりますので、ご報告いたします。

幹事報告

新世代会議開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当クラブでは、地域への奉仕活動の一環として新世代育成事業に取り組んでおります。今年も20年目となる「新世代会議」を文京区共催にて行います。

多くの方のご来場をお待ち申し上げます。

記

日時 2018年9月20日(木) 10:15~正午
講師 チックフィールド(株) 代表取締役 目代純平氏
(東京紀尾井町 RC 会員)

場所 文京シビックセンター26階 スカイホール
東京都文京区春日 1-16-21 TEL:03-5803-1100

浦添RC例会卓話:「RYLAについて」のご案内

今年度より当地区でもロータリー青少年指導者養成プログラム(Rotary Youth Leadership Awards、通称「RYLA」[ライラ])が始まることを受け、地区RYLA委員会に卓話をお願いしましたところ、嶋村文男地区委員長がお越し下さることになりました。RYLAについて学べる良い機会になると存じます。つきましては、多くの方にご参会いただきたく下記にてご案内申し上げます。草々

記

日時: 2018年8月31日(金) 12:30~13:30
会場: ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 20F
「スカイビュープラザ」

ビジター費: 2,000円

卓話: 「RYLAについて」

地区RYLA委員会 委員長 嶋村 文男 様

※お食事手配のためご参加者について予めお知らせ下さい。

卓話「ポリオ青年との出逢い」 (大仲会員)



本日はインドにおけるポリオについてのお話をさせていただきます。私がインドに参りましたのが約30年前で、今でこそインドはIT産業で世界をリードしているような国ですが、その当時は発展途上国でした。850種類の言語、多民族国家で、州そのものが一つの独立国みたいな感じで、独立共和国が大きなインドを作り上げているというような状況でございました。

ロータリーでは100周年を記念すべくこの地球上からポリオという病気をすべて排除しようと、活動を始めたわけでございます。ポリオとは、日本語では急性灰白髄炎或いは脊髄性小児麻痺という病気です。子どもたちを対象にした伝染病です。日本では、東京の麹町ロータリークラブから2名が南インドに行き、ワクチンの効果が出ていないことを調べていたが、風土病でなくなっていまい、その後沖縄で引き継ぐことになり、私と大宜見さんでインドに行き実態調査を行った結果、ワクチンの保存方法(冷凍方法)に問題があることを突き止めWHOに報告した。改善の結果、ポリオは撲滅宣言が出されるまでになったが、私の主見としましては本当にポリオは撲滅したんだろうかという印象が残っている。本題の「ポリオ青年との再会」ですが、ポリオ後遺症で悩む Chandrasekaran 青年を沖縄セントラル病院で身元を受け入れリハビリを行うことになった。出国手続きや言葉の壁、食生活や宗教の問題等困難なりハビリだったが、予定の6ヶ月で杖なしで歩行し手摺を掴みながら階段を昇降できるまでに回復した。初めての国際医療活動だったが、このことはインドで大きな反響を呼びインドのロータリーで「大仲奨学金」が生まれ現在に至る。今後も奉仕の心で活動を続けていきたい。

※詳しくは、大仲会員寄稿文書をご覧ください